

1. 阪谷小学校 第3・4学年 8名

2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ

広がれ！阪谷チャンネル☆

(2) 目 標

地域の魅力を発信する核としてがんばってきた『阪谷チャンネル』をより多くの方に広める。結果として地域の魅力である星空・里芋・ひまわりなどが広く発信され、自分達の誇りとして認知することにつながる。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDG s ※学校側での入力は不要です（詳しくはコメント欄をご覧ください）



4 質の高い教育をみんなに 7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
 9 産業と技術革新の基盤を作ろう 11 住み続けられるまちづくりを
 12 つくる責任、つかう責任 15 陸の豊かさも守ろう
 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(5) 探究課題・活動実践の概要

地域の魅力をどんなツールを使ってより広く発信していくか。また地域の魅力としてどんなものを発信することが有益か考える。

3. 流れ（指導計画の概略）

年度初めに総合的な学習で核とするものを児童に問うた。「YouTube を使う」という抽象的なイメージをもっている児童が多かった。そこで YouTube にどのような動画を発信していくとよいのか練合い、「星空・ひまわり・里芋」にしばられてきた。主体性をもたせるために星空については夏休みに家の近くにある星空スポットを自ら調べる活動を入れた。その場所を実際に訪れて動画材料を集めた。少しずつではあるが YouTube に動画が増え、チャンネル登録者数が増えてきた。信州 ESD を含め市内、県内、県外にまで発信する機会を得ることができた。

4. 効果・反応・所感

YouTube は目的を定めず動画を楽しむものという児童の認識を変えることができた。地域の魅力を発信するためのツールとして使えるという認識が変わった。多方面に発信する機会を得たことで、がんばりを認められることが増え、児童の自信につながった。また、地域の魅力である「星空・ひまわり・里芋」について自分たちが持っていた以上の価値をもっていることが認識できた。

5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

星空については8月に星空保護区認定を受けたことが追い風となり、児童が主体性をもって取り組んだ。里芋も地域の特産品として認定されており、市独自の社会科教科書にも掲載されている。星の街鑑賞会の橋本さんが里芋農園を営っており見学までの計画がスムーズだった。ひまわりは地域の花として大切にされており、阪谷マイスターの山村さんのフルバックアップを受けられる環境があった。